

南十字星

発行者
クイーンズランド
補習授業校
校長
丸山吉信

今後の予定

- 十一月二十九日
・ G C 補習校祭り
- 十二月六日
・ 両校新入生願書締切
- 十二月十三日
・ 第三学期終業式
- 一月二十四日
・ 第四学期始業式
- ・ 両校お正月集会
- ・ B N E 幼稚部入試
- ・ B N E 第四回運営委員会

入学説明会・授業参観・学校評価

ゴールドコースト校では十一月十五日に、ブリスベン校では二十二日に授業参観が行われました。この日は、新入学説明会と学校評価外部アンケートも並行して実施され、大勢の方に来校していただきました。

ゴールドコースト校の入学説明会では施設と授業を見学していただいた後、運営委員長による補習校運営の説明、日本人会長挨拶、保護者会長挨拶、続いて校長より補習校に学ぶ意義と心構えについてのお話をしました。

また、ブリスベン校でも、施設と授業を見学していただいた後、運営委員長による補習校運営の説明と保護者会副会長による保護者会の役割についての説明があり、続いて校長より補習校での学習と入学手続きについての説明をしました。参加下さった皆様はとても熱心に説明を聴いて下さり、即日出席の方が多く見られました。両校とも出席締切は十二月六日になっています。日本から赴任して来られる方については随時出席を受け付けます。

学校評価の外部アンケートは、本校のハード面とソフト面との両面についての二十六項目の質問に五段階の評価をしていただく形でお願いしました。厳封回収箱には予想以上の枚数の回答が入っていました。ご協力ありがとうございました。

授業参観は両校ともに四校時に行われました。写真はブリスベン校の小一国語とゴールドコースト校の小四算数の参観風景です。ブリスベン一年一組の国語では、この日の学習単元「くじらぐも」を単元の目標である



ブリスベン校 1-1 国語

「声を出して読む」に沿って進められ、「天までとどけ、一、二、三。」と読む箇所では、皆で手を繋いでジャンプし、くじらぐもに乗ってみました。感想をインタビューされた児童が「怖い」や「楽しい」などの感想を述べていました。



ゴールドコースト校 4年算数

また、ゴールドコーストの四年生は、「広さを調べよう」の単元で、面積についての量感を養う目標の授業が行

われました。

全校朝会スピーチ

十月十八日

G C 中二 宮本ボディグレース
今日私がスピーチするのは、初めてバイトをしたときのことです。休みの日にお父さんから電話がかかってきて、友人のカフェで働かないかという向こうからの誘いでした。休み中にお金をかせいで職場体験をするにも良い機会だと思つて話を受けました。

バイトなんて初めてだからいろいろと緊張しました。着いたときにはカフェも忙しくて、さっそく仕事を始めなければいけませんでした。キッチンの中へ入ったら、オーナーの一人ともう一人のバイトは大急ぎで料理をしていて、早くもシンクにたまったお皿を洗い始めました。お皿洗いと云つても、そこでは大急ぎで、お皿を割らないようにしないといけないくて、ちょっと大変でした。オーナーがたまに手が離せなくて、私がウェイトレスをやらないといけないかと思ったときが一番心配でした。テーブルを間違えたり、皿を落としたらどうしようとか。

テーブル番号を持ち帰らなかつたり、皿を拭くのが遅かつたりして、オ

「ナーの人や他のバイトの人に叱られました。だけど、私にとっては、ちよつとしたいい社会見学でした。しかもお給料付きの。」

十月二十五日

BNE 中二 松井美咲

私は最近ある人に興味を持ちました。エドウィンハッブルというアメリカの天文学者です。天文学が好きな人は皆知っている有名な人です。彼は「ハッブルの法則」や「ビッグバン説」などを発見し、今の宇宙論の基礎を築きあげた人です。他にも、彼は「ハッブル望遠鏡」でも有名な人です。この望遠鏡は宇宙にあつて、私たちが今までに見たことがなかったような星たちを見ることが出来ます。なぜならば、宇宙は天気や天候といった影響をいっさい受けないため何にも邪魔されず、地球から何千万キロも離れている銀河や星たちを観察することが出来ます。こういった望遠鏡がこれからの天文学を進歩させていってほしいです。皆さんにも興味があるという人がいれば、ぜひ調べてみて下さい。

今日は補習校祭りがあります。皆さんはもうご存知だと思いますが、私達中二、中三はお化け屋敷をします。皆さんは日本でお化け屋敷に行ったこ

とがありますか。日本のお化けには足がありませんが、オーストラリアのお化けはどうでしょう。ちよつとこわいですよ。是非来て下さい。

BNE理科学習

十月十八日のBNE理科では以下のような学習をしました。

一年一組「せいかつ(上)」

国語の単元「しらせたいな、見せたいな」と関連させ、補習校の校庭を散策し、植物や虫を見つけてスケッチをしました。蜘蛛、蜂、ありを見つけてスケッチをしていた子、ジャカランダやハイビスカス、ボトルブラシの花を見つけた子もいました。

教室に戻ってから、スケッチした絵に色を塗り、原稿用紙に三つ以上の文を書きました。見つけたもの、見つけた場所、大きさ、色、におい等を観察してから文にしました。

一年二組「せいかつ(上)」

「あたらしいせいかつ(上)」三十八ページの「くさばなやむしをさがそう」の単元をしました。まず、探し出す前に、今の日本の季節とオーストラリアの季節の違いを確認し、五十四ページ、六十二ページを開き、日本の秋

にはどんな虫がいて、どんな植物が見られるのかを写真で見ました。日本の秋には、写真のコオロギやどんぐりなどが見つかるが、では、オーストラリアの春には、どんな虫や植物が見つかるか、中庭に出て探しました。そして、見つけたものを、スケッチをしました。

春らしく、紫、赤、黄色などのカラフルな花を見つけてスケッチをしている児童が多く、蝶を見つけた児童もいました。一時間目は、生活科の時間に見つけたものから一つを選び、国語の単元「しらせたいな、みせたいな」で、見つけたものを説明する文章を書く授業に繋がりました。

二年一組「せいかつ(下)」

二年一組では、グラジオラスの成長観察について発表しました。児童は、自分の株とお友達の子の成長を比べながら、関心を持って聞いたり発表したりしていました。

二年二組「せいかつ(下)」

観察記録を見せながら、自分達のグラジオラスがどのように成長しているか発表しました。色を塗って丁寧に記録をつけているので、成長の様子がよく分ります。球根の種類によるので、茎の長さがかなり異なります。殆どの児童が、水栽培から鉢植

えに切り変えたそうです。残念ながら、どのグラジオラスもまだ花が咲く様子が見えず、皆その日を楽しみになっています。

三年「理科」

先学期に引き続き「じしゃくのふしぎをしらべよう」という単元に取り組んでいます。今回は教科書一二五ページのじしゃくのはたらきについて学びました。最初に磁石の端に釘をつけました。そしてその釘を磁石から放し、砂鉄に近づけるとひきつけられることがわかりました。さらに砂鉄を紙の上に置き、紙の下から磁石を動かすと砂鉄が磁石に紙を通してひきつけられることもわかりました。子どもたちは初めて砂鉄を見た子どもも多く、砂鉄が動くことに驚いて、興味を示していました。次回は磁石をつかったおもちゃを作成しようと考えています。

(四年生以降の理科学習レポートは次号に掲載します。)

GC補習校祭での児童生徒管理

十二時二十分に教室にお子様のお迎えに来ていただき、二時半のクラス毎の出席確認まで保護者の責任でお子様の監督をしていただくことになっております。ご協力をお願い致します。